

県政だより

# あきた 新時代

平成13年度  
vol.6

平成13年9月1日発行(第72号)  
[全戸配布広報紙]

編集・発行 / 秋田県広報課  
〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号  
☎018(860)1073

[特集]

## がんばってます チーム21

あきた女と男のハーモニープラン

[まちむら元気ルポ]

住民参加で元気なまちづくり 鷹巣町



花輪第一保育園(鹿角市)のとっても元気な子どもたち。  
今日は保育園の畑の草取りです。おいしいお芋  
ができますように。

部や課の垣根を越えて

# がんばってます チーム21

「チーム21」をご存じですか？  
「チーム21」とは、高度情報化や高齢化への対応といった8つのテーマに短期・集中的に取り組むために、今年4月県庁内に設置された新しい組織です。

テーマごとに、次の8チームが設置されました。

- 情報ハイウェイ活用チーム
- バリアフリー促進チーム
- 健康長寿推進チーム
- ふるさと美化推進チーム
- 食品産業振興チーム
- 循環型農業システム推進チーム
- 新事業創出促進チーム
- 観光情報発信チーム

これらのテーマは、地方分権が進むなかで本県が独自性を発揮しようとする分野や時代の変化に早急に対応しなければならない課題です。

こうしたテーマに2年間という限られた期間、集中的に取り組むための専任組織として設けられたのが「チーム21」です。独自の施策を自ら立案し、そして行動に移そうというものです。



どれも部局や課の垣根を越えた横断的なテーマだけに、さまざまな分野から職員が集まっています。また、県の職員だけでなく、民間会社や市町村職員も参加しています。

ひとつのチームは9人から12人で、8チーム全体では81人となっています。

6月県議会で本格的に取り組むための経費が予算化されたことから、各チームとも懸命にそれぞれのテーマに取り組んでいます。

各チームが今、何をしようとしているのか、ご紹介しましょう。

## 情報ハイウェイ活用チーム

TEL018(860)4277

～だれもが使いこなせるITの推進～

情報通信網「秋田情報ハイウェイ」の利用促進を図るとともに、本県におけるインターネット活用の普及促進を目標として事業を進めます。

特に利用効果の高いと思われる農業関連、商工業関連分野などの情報化について検討するほか、5万5千人の県民を対象にIT(情報技術)講習会を行います。また、市町村の公共施設でインターネットが利用できる環境整備、さらに小中学校でIT教育ができる環境整備の推進に取り組んでいきます。

<http://www.pref.akita.jp/highway/>



## バリアフリー促進チーム

TEL018(860)1324

～共に生きるバリアフリー社会づくり～

年齢・性別・身体など、人々が持つさまざまな特性や違いを越えて、誰もが住み慣れた地域で安全で快適に暮らすことができるよう、「こころ」「すまい」「交通・移動」「まち」「もの」「情報」「社会」の7つの視点からバリアフリーの社会づくりを促進します。

このため、多くの人が利用する施設や歩道の段差などの現状を調査するほか、バリアフリーに関する意識や要望などを調査し、「人にやさしいまちづくり条例(仮称)」の制定などを進めます。



## 健康長寿推進チーム

TEL018(860)1328

～第2の現役世代が活躍する社会へ～

少子化に加え、全国を上回るスピードで高齢化が進む中、高齢者が長寿社会を支える一員(第2の現役世代)として、働き、学び、遊びながら、他の世代と一緒に、地域づくりに取り組んでいくことが不可欠になります。

このチームでは、高齢者の社会参加をテーマに、高齢者が活動の輪を広げられる拠点(グループ・団体など)

づくりを促進するほか、楽しく学び、遊べる身近なスポットを紹介するガイドブックの作成などを行います。

ホームページ <http://www.pref.akita.jp/t21aging/hp.htm>



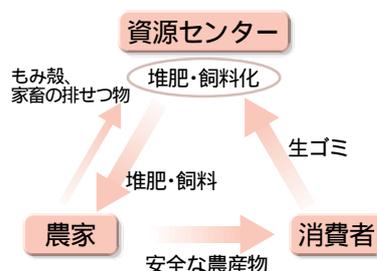
## 循環型農業システム推進チーム

TEL018(860)1794

～環境と調和した農業をめざして～

農家や家庭、食品関連業者から排出される稲わらや家畜排せつ物、食品廃棄物などを、堆肥や飼料などに再利用することによって、安全で安心な農産物を消費者に提供するとともに、農業が環境に与える影響をできるだけ少なくするため、循環型農業のシステムをつくります。

このため、有機性資源を循環利用するための計画づくり、横手平鹿地区での循環利用システムのモデル事業等に取り組めます。



## ふるさと美化推進チーム

TEL018(860)1572

～花・緑・夢いっぱいのもちづくり～

美化マスコットクリンちゃん



公園のように美しいふるさと秋田をめざして、市町村や企業、県民の皆さんと手を取り合いながら「花・緑・夢いっぱいのもちづくり事業」に取り組めます。

チームのメンバーが自ら「ふるさと綺麗隊」として、クリーンアップやゴミ持ち帰りキャンペーンを展開するほか、県内各地での美化運動がますます活発化するようボランティア活動への参加の呼びかけや支援、先進的な活動事例の紹介などを行います。

ホームページ <http://www.pref.akita.jp/bika/>



## 新事業創出促進チーム

TEL018(860)2257

～新事業創出で産業振興を～

本県産業の振興を図るため、経済のグローバル化、高度情報化、環境重視といった社会の変化に対応して付加価値の高い、新事業・新産業の創出に向けた取り組みを促進します。

このため、新事業化に取り組んでいる企業と一緒に汗をかいています。また、大学や公設試験機関等が持っている独自の技術や事業化のための芽を収集し、公開・活用するシステムづくり、産学官の連携を強化するための交流会などを実施しています。



## 食品産業振興チーム

TEL018(860)1773

～元気な食品産業への飛躍を！～

製品の出荷額が全国の下位にある秋田の食品産業が伸びていくことをめざしてできたチームです。

企業の方々が「消費者が求めていること」をとらえて新しい商品を作り出したり、さらに売れるようにするためのお手伝いをします。また、「秋田産の食品をもっと食べよう！」という運動を進めたり、企業と農家の方々が手をつなぐための橋渡しのしくみを作り上げます。



消費者の声も生かして

## 観光情報発信チーム

TEL018(860)2273

～秋田の知名度アップをめざして～

自然、四季、温泉、祭り、食べ物など個々の観光情報と合わせて、秋田の総合的なイメージを印象づけるような情報を発信することで、首都圏をはじめ県外における秋田の知名度アップを図ります。

このため、首都圏での情報発信に協力してくれる人や、飲食店からなる「チーム秋田」の組織化を進めるとともに、首都圏における各種メディアを利用したPRの強化や映像情報をより多く取り込んだホームページを立ち上げます。



# パートナーシップで築く豊かな社会

## 「あきた女と男のハーモニープラン」

(秋田県男女共同参画推進計画)

県では、男女共同参画を推進するための計画「あきた女と男のハーモニープラン」をこのほど策定しました。これは、県民の皆さんとともに考え、行動するためのてびきです。



男女平等は、憲法をはじめ、いろいろな法律や制度の中にもうたわれています。しかし、長い歴史の中でつくられた意識や慣習の中に、性別による役割分担をはじめとする「男性」「女性」に関する固定的な考え方が根強く残っていて、真の男女平等は実現していない状況にあります。

とりわけ、少子高齢化など社会情勢の変化に対応していくためにも、性別や年齢にとらわれず、互いに自由に意見を出し合いながら、対等なパートナーとして協力しあい、個性と能力を十分に発揮できる社会をつくり上げていく必要があります。

この計画では、男女共同参画社会の実現に向けて、次の4つの課題について、重点的に取り組むことにしています。

- 1) 男女平等や性別による固定的な役割分担などに対する意識を変えていく

- 2) 政策や方針を決定する過程へ女性の参画を増やすため、県の審議会等へ女性委員を登用するなど、県が率先して取り組む
- 3) 家事・育児・介護などは男女が協力しあい、社会がこれを支援していく。また、雇用の面で性別による格差をなくす
- 4) 女性も男性も生涯を通じて健康で安心して暮らせる社会をつくる

男女共同参画社会の実現のためには、県民の皆さん一人ひとりが自分のこととして考え、身近なところから取り組んでいくことが大切です。

あなたは、男女の固定的な役割分担意識にとらわれていませんか？

お問い合わせ 県男女共同参画室 TEL018(860)1555

## 新漁業取締船「くぼた」デビュー

県の新しい漁業取締船「くぼた」が完成し、7月9日男鹿市船川港で造船会社から県に引き渡されました。近年、高性能の漁船や遊漁船が増えていることもあって、老朽化した先代に代わって新造されたもの。スピードは35ノット(時速64キロメートル)と、先代の約3倍。違反行為やトラブルの監視・摘発にあたっています。



## 夢ある子育て・家庭づくり100人委員会を開催

子どもの多い明るい社会づくりに県民の声を反映させるための委員会が8月1日開催されました。子どもが生まれなくなった理由について話し合われ、「結婚や子育てに対する意識が変化した」「経済的負担が大きい」などの意見が出されました。2回の会合で取りまとめられた意見は「夢ある子育て・家庭づくり県民会議」に提言されます。



# まち 元気ルポ

## 住民参加で 元気なまちづくり [ 鷹巣町 ]



お問い合わせ  
鷹巣町元気ワールド  
TEL0186(60)1335

鷹巣町の「福祉のまちづくり」は全国的にも有名ですが、その特徴は住民同士の徹底した話し合いと自主的な活動です。

昨年からはさらにテーマを広げ、「歩いて暮らせるまちづくり」を目標に、歩くことを通じて、車社会では希薄になりがちな住民同士のふれあいを回復しようという取り組みを始めました。



電動スクーターで買い物も楽々

そのひとつが電動スクーターの貸し出しです。足の不自由な方でもショッピングを楽しむことができます。このほか、空き店舗を活用して整備された「元気ワールド」には、連日買い物帰りの高齢者が集まるなどすっかり交流の場になっていて、要望の多かった駅前通りの公衆トイレの役割も果たしています。

こうした活動の中心になって



いる千葉文吉さんと松橋一英さんは、「住民が地域の課題を出し合っ

て、いっしょに活動していますが、こうしたサービスは行政から一方的に与えられるのではなく、住民自らの手で生み出していくことで、住民がより利用しやすいものにできるのだという意識が根付いてきました」と、今後の活動に一層の手応えを感じていました。

松橋一英さん(左)と千葉文吉さん

## 県立近代美術館の移動展（大館市）

### 第1回移動展「美術館がやってきた」

大館市で近代美術館の第1回移動展を行います。県北部の方々にはぜひご覧ください。

日時 9月16日(日)~23日(日)

場所 大館郷土博物館

(大館市釈迦内)

TEL0186(48)2119

入館料 無料

お問い合わせ 県立近代美術館 TEL0182(33)8855



小田野直武「不忍池図」

## 県ボランティアフェスティバル

数学者ピーター・フランクル氏の記念講演、各種フォーラムのほか、活動体験コーナーなどもあります。

日時 9月30日(日) 午前10時30分~午後3時

場所 秋田市セリオン及びその周辺

参加料 無料

お問い合わせ 県社会福祉協議会

TEL018(864)2799

## 県立農業科学館

大曲市内小友 TEL0187(68)2300

### 企画展「カラフルコスモス展」

ピンク、赤、白など、さまざまな色のコスモス26品種、260鉢を展示します。

日時 9月18日(火)~10月8日(祝)

午前9時30分~午後4時30分

入館料 無料



## 第1回国際サイエンスフォーラム

県立大学が主催する産学交流のためのフォーラムです。内外の研究者や地域産業の活性化に取り組んでいるの方々の講演、高校生も参加するパネルディスカッションなど。

場所 県立大学本荘キャンパス(本荘市土谷)

日時 10月15日(月)~18日(木)

お問い合わせ 県立大学本荘キャンパス

TEL0184(27)2000

<http://www.akita-pu.ac.jp/>

游学  
さんぽみち

# 情報 の ひろば

## 市町村合併などに関する 調査研究・啓発事業を助成します

公共的団体や民間団体(複数の市町村の議員・職員による研究会等を含む)が行う市町村合併や広域行政に関する調査研究・啓発事業で、10万円以上の事業が対象です。助成額は経費の2分の1以内で上限50万円。

対象となる事業の例

- ・研究会、講演会、シンポジウムの開催
- ・地域現況調査、先進地調査、住民意識調査(先進地調査のみは対象外)
- ・パンフレットの作成、メディア広告

☎ 県市町村課 TEL018(860)1146

## 平成13年事業所・企業統計調査にご協力を

県内すべての事業所・企業が対象となる平成13年事業所・企業統計調査が、全国一斉に行われます。10月1日現在の調査で、調査員が9月下旬から伺います。

☎ 県統計課 TEL018(860)1255

## 10月から65歳以上の方の介護保険料が 満額徴収となります

昨年4月にスタートした介護保険制度では、65歳以上の高齢者の方について、昨年10月から今年9月まで、本来の保険料の半額を納めていただいていたのですが、今年の10月からは本来の保険料の額を納めていただくこととなります。

詳しくは、各市町村の窓口へお問い合わせください。

## 道路除排雪業務の発注について

県が管理する道路の除排雪業務は、昨年

度に引き続き簡易公募型指名競争入札で発注します。10月上旬からの入札公告をご覧ください。うえお申し込みください。

☎ 県の各建設事務所または  
県道路環境課 TEL018(860)2493

## 知事と語ろう「とことんトーク」

県政の課題などを知事とじっくり語り合う「とことんトーク」を県内8カ所で開催します。定員は各30人程度。申し込みは10日前まで各地方部へ。(多数の場合は抽選)

【鹿角】10月13日(土) 14:30~16:30

会場 小坂町交流センター・セパーム  
「環境との共生～資源循環型社会をめざして～」

☎ 鹿角地方部 TEL0186(22)0456

【大館北秋田】10月14日(日)10:00~12:00

会場 森吉町・四季美術館  
「少子高齢化社会における産業振興と地域づくり」

☎ 北秋田地方部 TEL0186(62)1251

【秋田周辺】10月20日(土)10:00~12:00

会場 飯田川町・八郎潟ハイツ  
「明るい農林業～地産地消の県民ネットワークをめざして～」

☎ 秋田地方部 TEL018(860)3319

【能代山本】10月21日(日)10:00~12:00

会場 八森町文化交流センター・ファガス  
「豊かな海と山、人と産業の新しい可能性」

☎ 山本地方部 TEL0185(52)6203

## 心いきいき芸術・文化祭

障害のある方のチャレンジの場として「心いきいき芸術・文化祭」を開催します。美術・工芸作品の展示や、9月28日には全盲の子どもをピアニストに育てた辻井いつ子氏の講演を行うほか、コンサート、指文字・手話体験など盛り沢山の内容です。

期間 9月27日(木)~29日(土)

場所 アトリオン

☎ 県障害福祉課 TEL018(860)1335

## 健康秋田21計画推進県民大会

今年度からスタートした「健康秋田21計画」を広く知っていただくため、料理研究

家の小林カツ代さん、元プロテニスプレーヤーの沢松奈生子さんらの講演会や、自由に健康チェックができる健康屋台村を開催します。(参加無料)

日時 9月24日(振替休日)10:00~18:00  
会場 講演・てい談(秋田テルサ)/健康屋台村(イオンショッピングセンター)

☎ 県健康対策課 TEL018(860)1422

## こどもの心と遊びの公開講座

お子さんの健やかな成長を応援する公開講座です。お気軽にご参加ください。

日時 9月30日(日)10:00~12:00

場所 大曲中央保育園、武道館ほか

内容 臨床心理士のミニ講話、遊びを通した親子のふれあい、子どもの救急蘇生など

☎ 県健康対策課 TEL018(860)1426

## 県民芸術祭「秋田現代美術展」

日本画・洋画・彫刻・書道・写真・デザイン・工芸の7部門で、現在活躍している県内在住美術作家の総合秀作美術展です。

日時 9月26日(水)~30日(日)

会場 県立美術館(入場無料)

☎ 県民文化政策課 TEL018(860)1531

## 動物愛護フェスティバル2001あきた

動物愛護週間のイベントで、動物とふれあいながら子どもも大人も楽しめます。

日時 9月23日(日)10:00~

場所 大森山動物園(中学生以下無料)

内容 動物をテーマにしたゲーム/正しいペットの飼い方講習/相談コーナーなど

☎ 県生活衛生課 TEL018(860)1593

## ベンチャープラザ秋田2001

「秋田発ベンチャー」の熱気に触れてみませんか。ベンチャー向け株式市場の説明会、ベンチャー企業のプレゼンテーションや新製品の展示のほか、アドバイスコーナーなど盛りだくさんです。ベンチャーに興味のある方、どなたでも参加できます。

日時 10月19日(金)13:00~19:00

場所 秋田ビューホテル

☎ 財あきた産業振興機構 TEL018(860)5607

話 一八五二三三三七 まで

「一トンの海水を煮詰めれば約三口の塩と約一リットルの」にがり」が採れるとも、最低十時間以上は火をたき続けるすな。これに使う廃材は二トン車一台分位だ」と佐々木さん。でき上がった塩をなめてみると、市販の食塩に比べ、まろやかな味がする。佐々木さんの話によると、海水から製造している純粋な国産天然塩は数例しかないという。価格は一般の食塩の約十倍で、キロ三千円。男鹿の主要な観光施設で販売している。

製塩所には三台のステンレス製の平釜が並び、少しずつ海水を蒸発させては隣りの釜に移し、三番目の釜で塩の結晶がで上がる。



釜は三つに分けられている

釜にマキを入れる  
決光子さん  
「まるでサウナだね」

# 広報 の窓

## あんな声 こんな声

今回は電子メールでいただいた県政への提言を2件ご紹介します。

黒い煙を出して走るトラックなどをよく見かけます。東京都の不正軽油撲滅運動のような取り組みを秋田県でも行ってほしいと思います。

軽油にA重油などを混ぜ合わせた不正軽油は、軽油引取税の悪質な脱税行為であるばかりでなく、黒煙排出量が多く環境への悪影響が懸念されます。このため県ではこれまでも路上や工事現場等を巡回して燃料の抜き取り調査を行って来ました。しかし、依然として不正軽油が横行しているため、今年度は10月を不正軽油一掃強調月間とし、全県一斉の抜き取り調査を集中的に行うほか、チラシなどでPRを行います。

車椅子で選挙の投票に行ったところ投票所に車いす用のスロープがなく、係員に持ち上げてもらい入場しました。すべての投票所のバリアフリー化を進めてください。

入場の際に介助が必要な投票所は全県でまだ6割以上あります。県ではバリアフリー促進チーム(2ページ参照)を設置し、投票所として利用する施設を含めて、県民の利用が多い建築物のバリアフリー化について検討を進めています。その結果を踏まえ、市町村の選挙管理委員会などと連携しながら、できる限り多くの投票所がバリアフリー化されるよう取り組みます。

皆様のご提言などは電子メールでもお寄せいただけます。県のホームページ「美の国秋田ネット」からお入りください。  
<http://www.pref.akita.jp/menu/iken.html>

### 秋田県職員(現業)採用試験

公用車、除雪車の運転などの現業業務に従事する職員の採用試験を実施します。

1次試験 10月14日(日)

採用予定人員 4人

募集期間 9月17日(月)~28日(金)

受験資格 昭和31年4月2日以降に生まれた方。大型自動車と大型特殊自動車を運転できる免許を取得していること。

☎ 県人事課 TEL018(860)1044

### 県出資法人の職員共同採用試験

県が出資する公益法人などの職員採用試験を共同で行います。希望する法人の順位を付して複数法人の受験もできます。

受付期間 10月1日(月)~12日(金)

1次試験 10月28日(日)/秋田工業高校試験の程度 上級試験は大卒程度、中級試験は短大・高専卒程度です。

(財)秋田県総合公社

事務職/上級1人・中級1人

(福)秋田県社会福祉事業団

生活指導職/上級2人・中級1人

(財)秋田県総合保健事業団

保健婦(士)/中級2人

診療放射線技師/中級1人

(財)秋田県分析化学センター

化学技術職/中級1人

秋田県信用保証協会

事務職/上級1人

秋田県土地開発公社

事務職/上級1人・中級1人

(財)秋田県建築住宅センター

事務職/上級1人

☎(財)秋田県総合公社TEL018(896)7100

### 砂利採取業務主任者試験

日時 11月9日(金)午前10時~

会場 県庁第二庁舎 8階大会議室

願書の配布・受付期間

9月13日(木)~10月12日(金)

☎ 県河川課 TEL018(860)2513

または県の各建設事務所

## 今月の広報番組

### テレビ

#### テレビ県民室

ABS 毎週日曜日11:00~11:15

9月2日 知事とともに(11:25まで)

9日 地域づくり団体「あじさいの里」

16日 大学生と子どもたちのふれあい

23日 ごはん食のすずめ

30日 県議会だより(11:25まで)

#### あきた東西南北

AAB 毎週土曜日9:30~9:45

9月1日 ワールドゲームズを支えた人たち

8日 シアターピース羽後町賛歌2001

15日 学生の職場体験

22日 北東北子ども環境ミーティングinあきた

29日 男鹿半島南海岸を訪ねて

#### 秋田花まるっ

AKT 毎週月曜日21:54~22:00

9月3日 新しい味!食用ほおずき

10日 知事と話そう「とことんトーク」

17日 脳血管研究センターの仕事

24日 自転車のまちづくり

#### 県庁だより

ABS 月~金11:45~11:50

#### モーニングスマイル

エフエム秋田 毎週土曜日

8:30~8:55

### ラジオ

「塩づくりのため、廃材使います」と書かれた看板を男鹿市の道路沿いで見かけた。「今の時代に、マキで塩なんて」と半信半疑だったが、電話をかけて訪ねてみたら本当にそうだった。

「釜に初めて火を入れたのは今年の七月十五日、大安の日。まあ、予定通りに塩はできています」と、うれしそうに語ってくれたのは男鹿半島振興会の理事長・佐々木茂さん(六五)。「なまはげの塩」製造の代表者だ。

海水の採取は船川港から船で四十五分程走る男鹿沖。ここの海水はミネラルが豊富できれいだからだ。大型のポリタンクに入れて港まで運び、トラックのポリタンクに移し替え、男鹿市脇本の製塩所で運ぶ。

「塩づくりのため、廃材使います」と書かれた看板を男鹿市の道路沿いで見かけた。「今の時代に、マキで塩なんて」と半信半疑だったが、電話をかけて訪ねてみたら本当にそうだった。



ミネラルたっぷり  
味もいすよ!!

廃材の有効利用から生まれた  
ミネラルたっぷり天然塩

春夏秋冬  
こぼれ話  
シリーズ 30

文 小西一三  
絵 小西由紀子



## 私のおすすめ 『秋田の風景』

『秋田駒ヶ岳』  
畠山幸義さん(六郷町)

秋田駒ヶ岳<sup>めだけ</sup>で、溶岩流を伴うマグマ噴火が発生して30年。荒涼としていた溶岩流の上にも少しずつコケが生え始め、遠くからでもうっすらと緑色に見える。

火山の噴火もすさまじいほどの地球エネルギーだが、やがてそこに植物が繁茂するのも、地球という命の営みの一部なのだろう。

あなたのお気に入りの自然景観や町並みをパチリと写真におさめてお寄せください。

撮影場所は県内とし、カラープリントであれば、サイズは問いません。採用された方には図書カード(千円分)をお送りします。なお、写真はお返しいたしませんので、ご了承ください。

応募方法 その風景に込めるあなたの思いを100字~150字程度お書き添えのうえ、郵便番号、住所、氏名(読みがな)、年齢、電話番号を明記して、〒010-8570秋田県広報課「私のおすすめ『秋田の風景』」係(住所の記載は不要)あてお送りください。

なるほど!

## 秋田弁講座

その1 ...古語が生きている秋田弁

昨年刊行された方言辞書「秋田のことば」(県教育委員会編)から、秋田弁に関する「なるほど!」を連載でお届けします。

秋田弁には、古語が数多く残っています。「めんこい」もそのひとつです。

「父母を見れば尊し 妻子見れば めぐし愛し。これは、万葉集に見える山上憶良の長歌の一節です。「めぐし(かわいらしい、いとおいしい)」と

いう古代語が、「めぐい」「めごい」を経て、「めんこい」として今も秋田で生き続けているのです。

ほかにも、「まなこ(眼)」「まなぐ」「しはぶき(咳)」「しゃんぶぎ」「うたてしいやだ」「うだで」「徒然なり(所在ない)」「とんじえねあ」など、数多くあります。



## 「家庭の日」運動 料理・写真コンクール

家族のふれあいを目的とした料理・写真コンクールに参加しませんか。

募集期間 9月3日(月)~28日(金)

ファミリークッキングコンク

テーマ 我が家にとっておき料

審査 一次(書類審査)

10月5日(金)

二次(実技・試食)

10月14日(日)

応募資格 県内在住の子とその家族のペア  
(子どもは、10歳以上18歳未満)



ファミリーフォトコンテスト

テーマ ファミリー

作品 四ツ切(ワイド含む)

カラー・白黒とも可、

未発表の作品で何点でも可

応募資格 県内在住の方

お問い合わせ

県民文化政策課 TEL018(860)1552



## クイズ

正解者の中から抽選で10の方に図書カード(千円分)をお送りします。

問題 「あきた女と男のハーモニープラン」は、ある計画の愛称です。その計画の正式名称とは?

- (A) あきた21総合計画
- (B) 秋田県男女共同参画推進計画
- (C) 健康秋田21計画

応募方法 ハガキに、答えの番号、郵便番号、住所、氏名(読みがな)、年齢と「あきた新時代」を読んだ感想・意見などをお書きのうえ、〒010-8570秋田県広報課クイズ係(住所の記載は不要)あてお送りください。締切は9月25日(消印有効)。

7月号の正解は 。394通の応募の中から抽選で次の方々に図書カードをお送りしました。

木村京子さん(大館市) 大山真知子さん(能代市) 小玉シンさん(琴丘町) 目黒正子さん(男鹿市) 佐藤玲子さん(秋田市) 伊岡森節子さん、戸嶋玲子さん(以上、角館町) 相模ゆかりさん(太田町) 小西弘美さん(雄物川町) 照井直美さん(山内村)

県政だより「あきた新時代」は県内全世帯にお届けしています。ご近所などで配達されない方がございましたら、県広報課までお知らせください。

また、ご感想などをお待ちしています。

県政だより「あきた新時代」は県のホームページ「美の国あきたネット」で紹介しています。

アドレスは、<http://www.pref.akita.jp/>

県政だより「あきた新時代」は、点字版、音読テープ版も発行しています。ご希望の方は、県広報課までお知らせください。

### 編集部から

ワールドゲームズが終わり、「あきた新時代」も紙面を一部見直しました。表紙には21世紀の秋田を担う元気な子どもたちが毎号登場するほか、好評をいただいた実用英会話に代えて「なるほど秋田弁講座」をお届けします。そして、新コーナー「私のおすすめ『秋田の風景』」には、あなたが「素敵だな」と思っている身近な風景をどんなお寄せください。



県人口 1,183,773人(236人減)  
 男 561,470人(199人減)  
 女 622,303人(37人減)  
 世帯数 391,797世帯(252世帯増)  
 (平成13年7月1日現在、( )は前月比)



古紙配合率100%再生紙を使用しています